

## 都路公民館が行政局内に移転



都路公民館が移転改築工事を終え、都路行政局内に完成しました。築40年の老朽化に加え、東日本大震災で被災し、新築が大幅改修に迫られていましたが、局内の2階と3階に移転することで町村合併以後、使われていなかった旧議場などが有効に活用でき、建築費を削減できました。

さらには、さまざまな行政サービスを1カ所で一度に受けられる「ワンストップサービス」が実現しました。新しくなった公民館ホールや従来の3倍の広さになった図書館分館を、ぜひご利用ください。

## やさしい「語り」に心温まる

大越公民館の女性学級、「合同学習および閉講式」が2月16日に行われ、21人が参加しました。24年度最後の合同学習会は「むかし語りをたのしもう」と題し、三島町在住で全会津語りの会副会長の五十嵐七重氏を講師に迎えました。参加者は、いにしへの情景が見えるような語り口に引き込まれ、むかし語りに聞き入っていました。また子どもの頃、母に抱かれて安心していただけを懐かしく思い出すなど、教室が温かい雰囲気になりました。閉講式では、「毎回楽しく参加できた」などの感想が多数寄せられました。



## カブトンファミリーが絵葉書に



日本郵便(株)東北支社の福島県中部地区連絡会が3月4日に市役所を訪れ、福島県の観光地やマスコットキャラクターが印刷された「I LOVE ふくしま ご当地キャラクター絵はがき」を市に寄贈しました。贈呈式には、連絡会から荒木統括局長(写真左)、近藤副統括局長(写真右から2番目)、東北支社の蛭田地区統括部長(写真右)が立ち会い、富塚市長に額縁入りの絵はがきを手渡しました。

絵はがきは5種類で、田村市分には、こどもの国ムシムシランドの風景と、カブトン、カブっち、カブリンのカブトンファミリーのイラストが印刷されました。

## 健康に役立つ教室を開催



滝根の高齢者学級「あぶくま大学」の閉講式が2月26日、天地人大学で開かれました。昨年6月に開講した学級は年8回開かれ、のべ266人が参加しました。最後の学習会では、口腔機能向上教室を開催。歯科衛生士の佐藤香さんの指導の下、嚥下障害や誤嚥性肺炎にならないよう、のどの体操「健口体操」や口の健康について学びました。閉講式では、学級委員長が一年間の学習を振り返り、感謝の言葉を述べました。

## 親子で楽しく食育を学ぶ



常葉公民館のセカンドスクール、保健課食育教室合同事業「たのしい親子料理教室」が2月24日、文化の館ときわで開かれました。10組24人が参加し、食生活改善推進員常葉班の指導を受けながら、さまざまな料理に挑戦しました。

チキンのさっぱり焼きやフルーツポンポン、クリームコーンスープ作りに、参加者は親子の触れ合いを感じながら、楽しいひと時を過ごしました。

完成した料理は、全員が舌鼓を打つ出来栄でした。

## 白熱したゲームを展開



ニュースポーツ体験教室が2月28日、滝根公民館で開かれました。16人が参加し、気軽に楽しめる「カローリング」を体験しました。参加者はルールなどの説明を受けた後、模擬試合に挑戦。曲がりながらも進んでゆくジェットローラーに、歓声を上げながら楽しみました。カローリングは、オリンピックなどで有名な「カーリング」を室内でできるようにしたスポーツで、1993年に名古屋で誕生しました。